

令和5年度 愛知教育大学入学試験問題
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名： 日本史B

I

問1 A 東夷 B 邪馬台国 C 親魏倭王 D 奈良

問2 (1) 三国志
(2) 日本国内では3世紀（邪馬台国の時代）頃の文字資料が見出されておらず、中国の史書の記録は当時の日本の様子を探るための文字資料として貴重である。

問3 (1) （後漢の）光武帝
(2) 福岡県

問4 楽浪郡 帯方郡 （順番は問わない）

問5 [九州説]
(1) まだ九州の一地方政権であり、日本の広範囲にわたる勢力とはなっていない。
(2) 邪馬台国など九州の勢力が東遷してヤマト政権となった、あるいはヤマト政権によってのちに征服されていったなどの可能性が考えられる。

[畿内説]

(1) すでに日本列島を広範囲にわたって支配する政治権力の形成に至っていた。
(2) 邪馬台国がのちのヤマト政権につながっていった可能性が高い。

※出題の意図

古代の日本についての基礎的知識を問うとともに、それを活用して説明する能力を問う。

II

問1 A 台湾 B 中華人民共和国 C サンフランシスコ D 沖縄

問2 1910年以降、日本が植民地としていた朝鮮半島に、日本の降伏にもなつて、日本と交戦していたアメリカ軍とソ連軍が、占領のために進駐した。

問3 日本はアメリカとともに台湾の中華民国と国交をもち、大陸とは断交状態にあったが、米中の国交回復をうけ、1972年に日中国交正常化が実現した。以後、経済的な結びつきは強まったが、近代日本の大陸進出の歴史をめぐって感情的な対立が残り、現在まで必ずしも解決していない。

問4 第2次世界大戦とその敗北によって外貨不足に苦しんでいた日本経済は、朝鮮戦争の特需によってドル（外貨）を獲得し、それによって原材料輸入が進み、国内の産業が活性化して、以後の戦後復興につながった。

問5 A 地理的に日本列島はアジア大陸への対抗のための拠点（基地）となる。
B 日米安全保障（安保）条約
C 貢献 日本列島における強大な基地の提供
日本側の対応 日本アメリカ軍基地の多くが沖縄に集中し、その負担が重くなっているため、その状況の改善を進めようとしているが、なかなか解決のめどが立たないままとなっている。

問6 A 国境線の未確定により、北方領土がソ連（ロシア）に占拠されている。
B 国際連合に加盟することができなかった。
C 「自主外交」を掲げた当時の日本政府が日ソ共同宣言に調印し、国交正常化を実現したため、日本の国連加盟が可能となった。

問7 小笠原諸島

※出題の意図

戦後の日本の歩みを国際社会の中で捉え、それを説明する能力を問う。

III

【評価の観点と出題の意図】

細かい知識の断片としてではなく、日本史全体の中での大きな枠組みとして中世の歴史を捉えているかを問う。

また、それを説明するための切り口を自分が持っている知識の中から見出し、活用することができるかを問う。

自分の考えを、ある程度の量の文章を綴って説明することができるか（文章がうまいことは勿論望ましいが、少なくとも相手に自分の意図を伝える力を持っているか）を問う。

令和5年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名： 地理歴史（世界史B）

I

空欄補充（解答例）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------------------------|
| (1) ジググラト | (2) アッカド | (3) 楔形 |
| (4) ノモス | (5) メンフィス | (6) テーベ |
| (7) アトン | (8) ハラッパー | (9) モエンジョ＝ダール
(モヘンジョ＝ダロ) |
| (10) 印章 | (11) カイバル | (12) アワ（粟） |
| (13) 仰韶 | (14) 河姆渡 | (15) 甲骨 |

問1 （解答例）肥沃な三日月地帯

問2 (1) (解答例) ハンムラビ王

(2) (出題の意図) 歴史資料の内容を読み取り、聞かれたことに適切に答える力を問うた。

(評価の観点) アウールム、ムシュケーヌム、奴隸という階層の違い、男性と女性という性別の違いが設けられていたこと。また上級者から下級者への加害は逆の場合に比べて処罰が極端に軽く、とくに女性や奴隸の生命・身体が軽んじられていたこと、などの諸点。

問3 （解答例）太陰暦は月の満ち欠けで1ヶ月を区切る暦であり、1年間の長さが太陽暦とは一致せず、実際の季節と食い違いが出る。そのため閏月を設けて補正したものが太陰太陽暦である。

問4(1) (解答例) リグ・ヴェーダは最古のヴェーダ（宗教的文献）であり、さまざまな自然神に捧げられた賛歌集である。

(2) (解答例) ヴァルナ制という。ヴァルナは色を意味し、アーリヤ人が先住民との皮膚の色の違いから人々を区別した身分階層制である。バラモン、クシャトリヤ、ヴァイシャ、シュードラという四階層があり、さらに枠外に不可触民がいた。のちのカースト制の原型となった。

問5 （解答例） e

問6 （解答例）王（天子）は、天命を受けて民を統治する存在であり、悪政を行えば、天が天命をあらため（革命）、他の有徳者に天命が移り王朝が交替する（易姓）という考え方。

令和5年度 愛知教育大学入学試験問題
標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名：地理歴史（世界史B）

Ⅱ

空欄補充（解答例）

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| (1) (ユーク=) カペー | (2) オットー1世 | (3) スカンディナヴィア |
| (4) アルフレッド | (5) クヌート（カヌート） | (6) ウィリアム（ギヨーム） |
| (7) 十分の一 | (8) クリュニー | (9) 破門 |
| (10) ヴォルムス | (11) ウルバヌス2世 | (12) イェルサレム |

問1 （解答例）ハンガリー王国

問2 （解答例）カール4世が発布した神聖ローマ帝国の基本法であり、皇帝選出の手続きを定め、皇帝選出権を七選帝侯に認めた。

問3 （解答例）封建的主従関係においては、主君は家臣に対して封土（領地）を与えて保護することが、そして、家臣は主君に対して忠誠を誓い軍事的奉仕をすることが、それぞれ義務づけられた。この関係は契約関係であり、がんらい一代限りであったが、やがて世襲化した。

問4 （解答例）賦役・貢納・結婚税や死亡税の支払義務

問5 （解答例）荘園内における国王の裁判権や課税権を領主が拒否する権利。領主は領地の農民に対し裁判権をもつなど、農民を自由に支配することができ、領主の自立化が促された。

問6 （解答例）聖職売買・聖職者の妻帯。

問7 （解答例）大司教・司教・修道院長などの聖職者の任免権（叙任権）が世俗権力的手中にあることが教会の腐敗や墮落の原因であると考えた教皇グレゴリウス7世は、叙任権を教会へと移そうとしたが、それによりハインリヒ4世と対立し、争いとなった。

問8 （解答例）三圃制・重量有輪犁・水車の改良

問9 (解答例) 王朝名 アイユーブ朝 人物名 サラディン (サラーフ=アッディーン)

令和5年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名： 地理歴史（世界史B）

Ⅲ

空欄補充（解答例）

- | | | |
|--------------|----------------|-------------|
| (1) 第3回対仏大同盟 | (2) トラファルガー | (3) 大陸封鎖令 |
| (4) エルバ | (5) 正統主義 | (6) メッテルニヒ |
| (7) コシュート | (8) ベーメン（ボヘミア） | (9) クリミア |
| (10) カヴール | (11) ガリバルディ | (12) ローマ教皇領 |
| (13) 北ドイツ連邦 | (14) ナポレオン3世 | (15) ヴェルサイユ |

- 問1 (1) (解答例) ヴァルミーの戦い
(2) (解答例) ラ＝マルセイユーズ

- 問2 (1) (解答例) ロゼッタストーン（ロゼッタ石）
(2) (解答例) 上段に古代エジプトの神聖文字（ヒエログリフ）、中段に民用文字、下段にギリシア文字が書かれていた。

- 問3 (1) (解答例) ドイツ国民に告ぐ
(2) (解答例) ゴヤ

- 問4 (1) (解答例) イダルゴ
(2) (解答例) サン＝マルティン

- 問5 (解答例) 1830年、ブルボン復古王政のシャルル10世が議会解散を行うと、それに抗議して7月にパリ市民と民衆が立ち上がり、国王はイギリスに亡命した。これを七月革命という。新政府では立憲主義者が主導権を握り、自由主義者として知られたオルレアン家のルイ＝フィリップが国王に即位し、七月王政が成立した。

- 問6 (1) (解答例) マッツイーニ
(2) (解答例) ローマ共和国

- 問7 (解答例) ニコライ1世

問8 (1) (解答例) セヴァストーポリ

(2) (解答例) 1856年のパリ条約でロシアは黒海の中立化を認め、またロンドン条約で定められていたボスポラス・ダーダネルス両海峡の軍艦の航行禁止を再確認させられた。

問9 (解答例) イタリア側が、1870年の統一後も、トリエステ・南チロルなど、オーストリア領内に残ったイタリア系住民が多い地域を呼んだ呼称。

問10 (1) (解答例) ビスマルクが主導した軍備拡張によるドイツ統一を目指す政策のこと。1862年の議会で、現下の大問題は演説や多数決ではなく、鉄(武器)と血(兵士)によって決定される、と主張したことに由来する。

(2) (解答例) 国家統合と近代化のために進めた、政教分離に反対する南ドイツのカトリック教徒を抑圧する闘争のこと。自由主義者やプロテスタント系市民がカトリック教徒を非難し、「(近代)文化のための闘争」と称したことに由来する。

令和5年度 愛知教育大学入学試験問題

標準的解答例または出題の意図及び評価の観点

【前期日程】

科目名： 地理歴史（地理B）

I

問1 【一義的に回答を示せる問題】

1,000

問2 【一義的に回答を示せる問題】

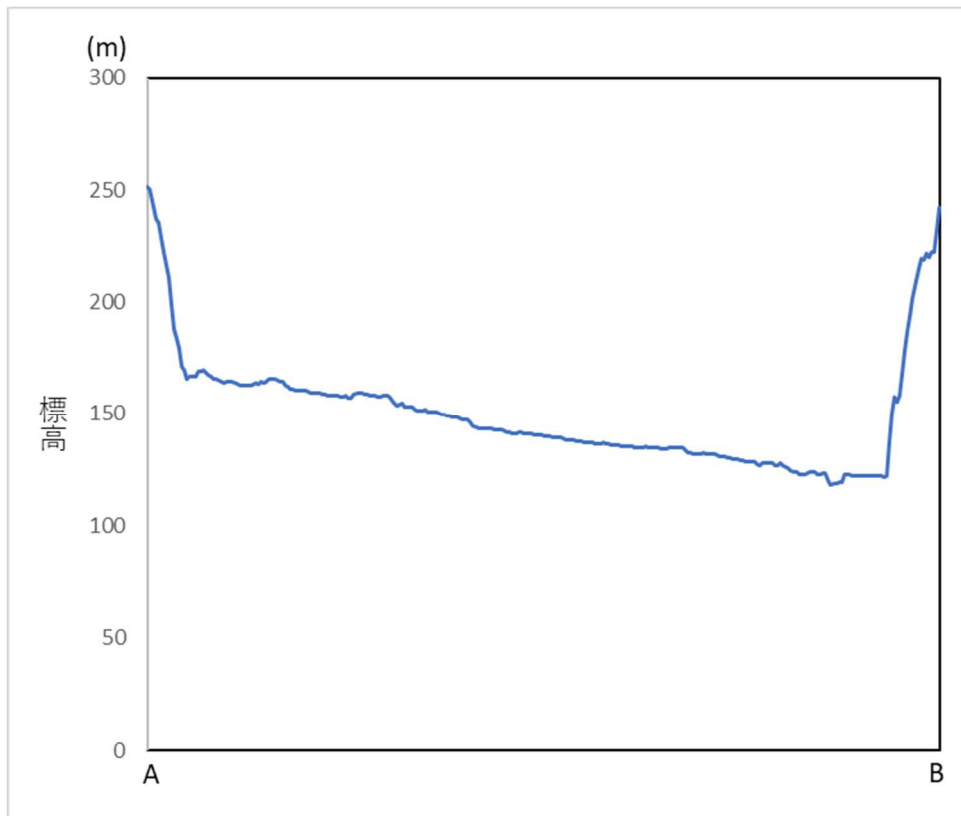
①バルカン	②アナトリア
③イラン	④営力

問3 【一義的に回答を示せる問題】

1)

①扇頂	②扇状
③扇央	④扇端
⑤溜池	

2)



問4 【一義的に回答を示せない問題】

天山山脈は、古生代後半に形成された褶曲山脈が侵食によって準平原化した後に、新生代後半にユーラシアプレートとインド・オーストラリアプレートというとなりあうプレートの衝突による断層作用で再び上昇して高くけわしくなった。

問5 【一義的に回答を示せない問題】

変化の理由：プレートテクトニクス理論の高等学校地理教科書への導入

自らの考え：諸科学の進歩とともに、教科書の内容は変化することを踏まえて、自らの考えが述べられているかに着目して採点。

II

問1 【一義的に回答を示せない問題】

西ヨーロッパの都市の多くは歴史的な起源が古く、かつての歴史的な中心集落が残された状態でその外側にオフィス地区や工業地区ができ、さらに郊外に向かって住宅地区が形成されるが、それに比べて歴史の浅い北アメリカの都市では、かつての歴史的集落がすぐに都心のオフィスビルへと刷新され、その外側に商業地区や工業地区が、さらに郊外に住宅地が形成されるため、両者の都市景観に違いが生まれる。

問2 【一義的に回答を示せない問題】

1955年～1975年の高度経済成長期には、地方から大都市圏（太平洋ベルトも可）に大量の人口流入があったため、東京・大阪・名古屋のような三大都市圏を中心に人口が増加したが、1975年以降の安定成長期からバブル経済期とその後の経済不況を経て、大阪や名古屋大都市圏では人口の伸びが鈍化し、首都圏である東京大都市圏への一極集中が強まるといった変化が生じた。

問3 【一義的に回答を示せる問題】

ジェントリフィケーション

問4 【一義的に回答を示せない問題】

以前は、大都市圏の居住者は郊外から都心部のオフィスビルに長距離・長時間通勤していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によって在宅でのリモートワークが推奨されたことで、都心部に出勤する人々が減った。その結果、都心部にオフィスをかまえていた企業が撤退したり、本社機能を地方移転させるなどの動きがみられるようになったり、労働者自身も地方に移住して必要な時だけ大都市圏に出勤するなど、新しい時代の都市空間の在り方が部分的に生じるだろうと考えられる。

III

問1 【一義的に回答を示せる問題】

ア	安定陸塊	イ	リベリア
---	------	---	------

問2 【一義的に回答を示せない問題】

タンガニーカ湖は地溝湖であるため、水深が深くなりやすいため。

問3 【一義的に回答を示せない問題】

台地状の土地のへりが沿岸部まで張り出していて、そこに川の急流や滝ができやすいから。

問4 【一義的に回答を示せる問題】

地域	気候名	雨温図	地図
①	Af (熱帯雨林) 気候	X	い
②	Aw (サバナ) 気候	W	あ
③	BW (砂漠) 気候	Z	う
④	Cs (地中海性) 気候	Y	え

問5 【一義的に回答を示せる問題】

ウ	0	エ	本初子午
オ	180	カ	ウェリントン

問 6 【一義的に回答を示せない問題】

(解答)

図 1 からわかるように、将来アフリカの国々は人口増加が進み、2100 年頃にはアジアの人口に追いつくくらいになることが予想されることから、巨大な人口をいかした大市場の誕生が期待される。このことは図 2 から、アフリカに海外の国々からの投資額が増えていることからわかる。

ただし、図 3 を見ると、アフリカの国々は一般機械や電気機器などの工業製品を輸入している。これはアフリカの国々はいまだ工業化されていない国や地域が多いことを表している。さらに、原油や穀物も輸入しており、人口が増え続けることによってエネルギー問題や食糧問題が起こることも予想される。

こうした諸問題の背景には、アフリカはモノカルチャー経済の国が多く、植民地時代の影響もあり、工業化せず資源を輸出したり、農業では自給用ではない商品作物を優先して栽培してきた歴史があるからと考えられる。

【出題の意図】

I の出題意図

本問では、プレートテクトニクス理論によって変化した高校地理教科書の地形にかかわる記述を題材に、地形図の読み取りなどの地理的技能のほか、地形の形成と地域的特性にかかわる基礎的知識とそれを基に解答を導き出す地理的思考力を問う。

II の出題意図

都市や集落の時空間的発展のロジックに対する系統地理学的理解と、戦後や昨今の社会・経済情勢が日本の大都市圏に与える影響への論理的説明力を問う。

III の出題意図

本問は、アフリカ大陸の地形や気候についての基本が身につけているのかを確認し、グラフなどから情報を得て論理的思考ができるかを問う。